

2005年5月26日

住友化学株式会社

住友化学、MMA 事業を大幅拡張

住友化学は、このほど、シンガポールにおいてメチルメタクリレート（MMA）のモノマーおよびポリマーについて、新たな製造ラインを新設し、生産能力を増強する計画に着手いたしました。モノマー（第三プラント）については、年産能力 90 千トン、ポリマー（第二プラント）については年産能力 50 千トンの新プラントを建設いたします。商業運転の開始はいずれも 2008 年第一四半期を予定しています。

当社は、MMA 事業を基礎化学部門の戦略事業と位置づけ、MMA モノマーを効率的に生産する直酸法製造技術や、導光板用など光学用途グレードの MMA ポリマーを生産するのに最適の連続バルク重合プロセス、さらに光学用厚板に適した押し出し板製造技術など、国際競争力のある独自の製造技術を武器に、アジア市場を中心に、積極的に事業拡大を図って参りました。

アジア市場の MMA モノマーの需要は、キャストシート、エマルジョン、人工大理石、MBS 樹脂、透明 ABS 樹脂といった従来の用途の伸びに加え、液晶ディスプレイやプロジェクションテレビ向けなどの IT 関連材料用の MMA ポリマーや MS 樹脂の需要が急増しており、年率 7%を超える高い伸びが見込まれています。この中にはシンガポールおよび近隣国での MMA モノマーの新規需要の急増も含まれています。MMA ポリマーについては、自動車、家電、雑貨用といった汎用用途の伸びに加え、前述の液晶ディスプレイ向けが急増しており、MMA モノマー以上の高い伸びが見込まれています。一方、MMA モノマーの生産能力の増加は当面、世界的に見ても限られており、需給が逼迫した状態が継続するものと見られます。

今回の新增設は、コスト競争力の面でも、シンガポールの整備された原料調達体制や物流システムなどのインフラストラクチャーの十分な活用とともに、自社開発の高性能酸化触媒の採用や、既存の工場設備の有効活用、効率的な運転方法の導入による最小限の人員配置の実施などにより、高い優位性を有するものと見込んでおります。

本増設により、住友化学グループのシンガポールにおける MMA モノマー生産能力は、第一プラントおよび現在建設を完了し商業運転の準備を進めています第二プラントと今回の増設分を合わせまして 223 千トンとなり、日本、韓国を加えたアジアの 3 拠点全体では 413 千トンとなります。MMA ポリマーにつきましては、シンガポールでの能力が合計 100 千トン、アジア全体では 244 千トンとなります。当社は、アジアにおける最大規模のメーカーとして、今後とも、当社独自の製造技術などの強みをいかして、伸長著しいアジア市場の需要に積極的に応じ、事業の拡大を図ってまいります。

以上

(ご参考)

1. MS 樹脂

MMA とスチレンを重合した樹脂。主に液晶テレビ用拡散板やプロジェクションテレビスクリーン等に用いられています。

2. MBS 樹脂

MMA、ブタジエン、スチレンを重合した樹脂。主に塩ビの改質剤（耐衝撃強化）等に用いられています。